

第36回高知糖尿病チーム医療研修会のご案内

謹啓 時下、皆様方におかれましては、益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

第36回高知糖尿病チーム医療研修会をご案内致します。

今回の教育講演は、高知赤十字病院 副院長 救命救急センターセンター長・救急部長 西山 謹吾先生から「糖尿病などの余病をもつ傷病者の避難所運営」、また、近森病院 循環器内科部長 關 秀一先生から「重症下肢虚血(CLI)に対する当院での取り組み ―糖尿病足病変に対するチーム医療―」と題してご講演いただきます。

シンポジウムでは、県内各施設で糖尿病療養指導にご活躍の先生方の口述発表と総合討論を予定しております。糖尿病治療、指導に興味をお持ちの医師、歯科医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、管理栄養士、栄養士、保健師、理学療法士、歯科衛生士等多数のご参加をお待ちしております。

尚、本研修会は、日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修会として<第2群>(糖尿病療養指導研修単位)1単位を申請中です。

謹 白

第36回高知糖尿病チーム医療研修会
幹事 高知赤十字病院 川島 加奈

記

日 時：平成28年11月6日(日) 13:00~17:00

場 所：高知市文化プラザ かるぽーと 大ホール

対 象：医師、歯科医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、管理栄養士、
栄養士、保健師、理学療法士、歯科衛生士、その他医療スタッフ

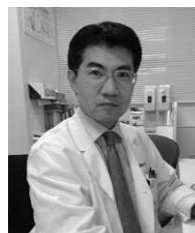
【講師プロフィール及び講演要旨】



「糖尿病などの余病をもつ傷病者の避難所運営」

西山 謹吾 先生 (高知赤十字病院 副院長 救命救急センターセンター長・救急部長)

阪神淡路大震災を経験し、救命を目的にDMATなどの医療派遣チームが注目されてきている。しかし災害医療は超急性期だけでなく急性期・亜急性期・慢性期へと続き、息の長い活動が必要とされる。その中で避難所などにおいて肺血栓塞栓症や心筋梗塞などの災害関連死の予防も大切な課題である。避難所には若年者から高齢者まで、持病を持っている方もいればアレルギーを持っている方もいる。高血圧症や糖尿病は普段からコントロールが必要だが、避難所では難しい場合がある。衣食住のなかでいち早く食事への介入ができるようなシステムが必要となる。糖尿病などの余病をもつ傷病者の避難所運営について考察してみたい。



「重症下肢虚血(CLI)に対する当院での取り組み ―糖尿病足病変に対するチーム医療―」

關 秀一 先生 (近森病院 循環器内科部長)

糖尿病患者の急増および高齢化に伴い、糖尿病合併症が増えています。大血管では、高血糖の影響が動脈硬化として生じ、心筋梗塞・脳梗塞・末梢動脈疾患(PAD)をきたします。糖尿病患者の10~15%にPADを併発し、PADがさらに重症化(潰瘍や壊疽)した重症下肢虚血(CLI)も急増し、下肢切断に至ることもあります。60歳以上の約700万人が足病変を発症し、下肢切断は年間1万人以上と推定されています。糖尿病に起因するCLIは、初期には自覚症状が乏しく、また異常に気付いたとしてもどこの診療科を受診したらよいか分からず、早期診断や治療が遅れることも少なくありません。足に壊疽が生じると、これまでは切断していましたが、カテーテル治療の進歩により、下肢切断を回避できるケースも増えてきました。

下肢切断を回避するには、早期に足の異常を発見することです。悩んでいる患者さんは、気軽に循環器内科を受診させてください。

【プログラム】

12:00 ~ 受付

13:00 ~ 13:05 開会挨拶

第36回研修会幹事 川島 加奈 先生(高知赤十字病院 管理栄養士)

13:05 ~ 14:00

教育講演1 司 会 川島 加奈 先生(高知赤十字病院 医療技術部 栄養課)
「糖尿病などの余病をもつ傷病者の避難所運営」

演 者 西山 謹吾 先生(高知赤十字病院 副院長 救命救急センターセンター長・救急部長)

14:00 ~ 15:00

シンポジウム「糖尿病療養指導の現状と実際」
司 会 井上 眞理 先生(南国いのうえクリニック 医師)
十萬 敬子 先生(高知医療センター 管理栄養士)

① 坂出 佳代(高知高須病院 臨床検査技師)

「抗GAD抗体例の推移」

② 尾崎 みづほ(高知赤十字病院 看護師)

「糖尿病患者さんの災害への備え~備えあれば憂いなし~」

③ 川竹 千佳(高知赤十字病院 管理栄養士)

「2泊3日糖尿病教育入院での取り組み」

④ 川竹 由貴(津田クリニック 看護師)

「糖尿病教室10年の取り組みと地域連携について」

⑤ 近藤 寛(高知大学附属病院 理学療法士)

「高知県における糖尿病教育入院患者の特徴と理学療法の取り組み」

15:00 ~ 15:05 休憩

15:05 ~ 15:30

ポスターセッション(上記シンポジウムをポスターにて質疑応答)

15:30 ~ 16:00 総合討論

16:00 ~ 16:55

教育講演2 司 会 吉本 幸生 先生(高知赤十字病院 診療部長・第六内科部長)
「重症下肢虚血(CLI)に対する当院での取り組み ―糖尿病足病変に対するチーム医療―」

演 者 關 秀一 先生(近森病院 循環器内科部長)

16:55 ~ 17:00 閉会挨拶

第36回研修会幹事 川島 加奈 先生(高知赤十字病院 管理栄養士)

参加申込書

高知糖尿病チーム医療研修会 事務局

〒781-5103 高知市大津乙2705-1

高知高須病院 栄養部

TEL 088-878-3377

FAX 088-878-3322

Email:dm-takasu@takasuhp.or.jp

※ この用紙に同一施設・複数名で、ご記名願います。

歯科医師会会員の先生方へ

ご出席の際には、日歯生涯研修事業ICカードを必ずご持参ください。

ICカードを忘れると、研修会の研修単位登録は自己申告で行うこととなります。

ご施設名：

ご施設名住所：〒

電話番号：() -

1. 申込み代表者名	_____	ご職種	_____
2. ご芳名	_____	ご職種	_____
3. ご芳名	_____	ご職種	_____
4. ご芳名	_____	ご職種	_____
5. ご芳名	_____	ご職種	_____
6. ご芳名	_____	ご職種	_____
7. ご芳名	_____	ご職種	_____
8. ご芳名	_____	ご職種	_____
9. ご芳名	_____	ご職種	_____
10. ご芳名	_____	ご職種	_____

講師の先生にお聞きしたい点、ご質問がありましたら事前にご記入ください。

足りない場合、用紙をコピーしてご記入の上、FAXしてください。

【その他の連絡事項】

1. 参加費 お一人様 1,000円を受付にて申し受けます。
2. 参加申し込み方法 住所・氏名・施設名・職種・電話番号を記入の上、FAX又はE-mailにて申し込み願います。
3. 参加申込先 〒781-5103 高知市大津乙2705-1 高知高須病院 栄養部

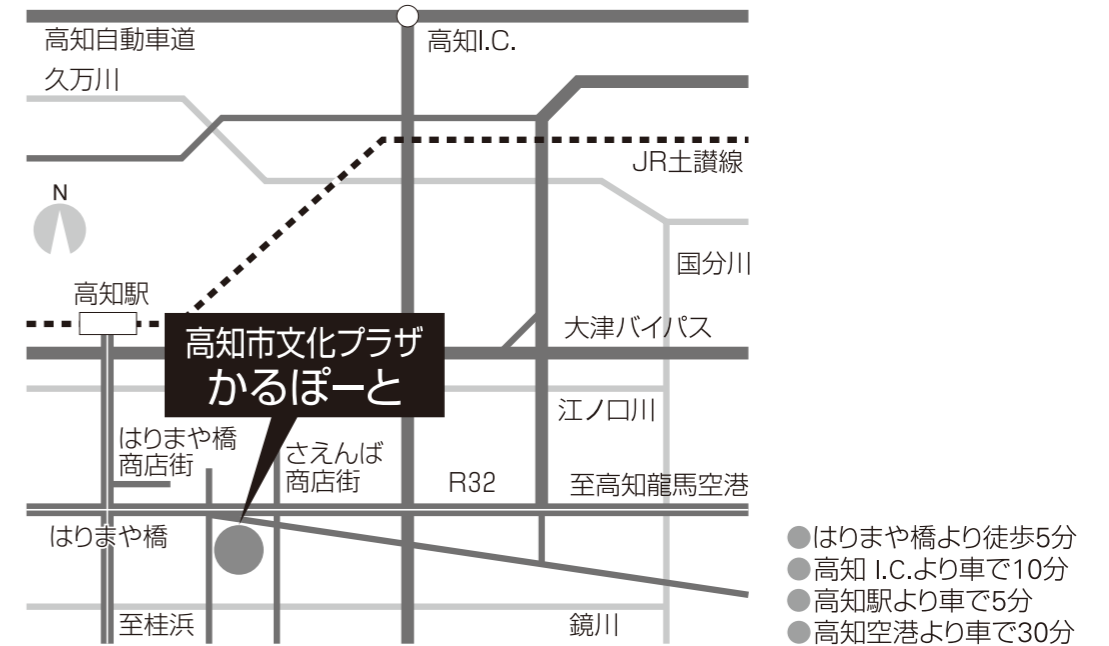
Fax 088-878-3322

TEL 088-878-3377

Email:dm-takasu@takasuhp.or.jp

4. 申込締切日 平成28年10月21日(金)
5. 当セミナーは、下記の研修認定単位を取得することができます。
 - ・日本医師会生涯教育講座(3.5単位)
 - ・日本薬剤師研修センター 認定単位(2単位)
 - ・日本病院薬剤師会生涯研修制度(2単位)
 - ・日本臨床衛生検査技師会履修点数(基礎-20点)
 - ・日本栄養士会 生涯教育(1単位)
 - ・日本歯科医師会 生涯研修制度単位認定(4単位)
 - ・日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修(第2群) 1単位
 - ・日本糖尿病協会登録医・療養指導医制度のための講習会
 - ・日本糖尿病協会 歯科医師登録医のための講習会
 - ・高知県糖尿病療養指導士単位認定(4単位)
 - ・日病薬病院薬学認定薬剤師制度(2単位)

6. 会場案内図



共催：高知糖尿病チーム医療研修会
高知県糖尿病対策推進会議
高知県医師会
高知県糖尿病療養指導士会
バイエル薬品株式会社

第一三共株式会社
公益社団法人高知県栄養士会
公益社団法人高知県薬剤師会
高知県病院薬剤師会

後援：公益社団法人高知県看護協会
(社)高知県臨床検査技師会
公益社団法人高知県理学療法士協会
高知県歯科医師会